

化石研 ニュース

No.121 2014/10/30

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第142回化石研究会例会（於 長岡） のおしらせ

第142回化石研究会例会を、下記日程で開催いたします。

今回は、移転リニューアルされたばかりの長岡市立科学博物館において、絶滅種ステラードイカイギュウでも知られるヒドロダマリス属海牛に関する講演などが予定されています。さらに例会前日の15日にサテライト講演会と懇親会が行われるほか、翌17日にも関連イベントを予定しています。会員の皆様の参加を心からお待ちしています。

長岡市立科学博物館移転リニューアル記念講演会

「ミヨウシーとなかまたち

ーヒドロダマリス属海牛の研究からわかったことー

- 日 時：2014年11月16日（日） 午後2時～4時
- 会 場：「さいわいプラザ」（長岡市役所幸町庁舎）内 長岡市中央公民館大ホール（4F）
新潟県長岡市幸町2-1-1（電話：0258-32-0546 長岡市立科学博物館）
- 内 容：講演1 「ミヨウシーはどこから来て、どこへいったのか…」
講師 古沢 仁 会員（札幌市博物館活動センター）
講演2 「ミヨウシーの姿を復活させよう」
講師 徳川広和 会員（古生物造形作家・株式会社 ActoW）
その他 ・長岡市妙見町におけるヒドロダマリス属海牛の発見と発掘（報告）
・展示解説
- 参加費・入館料：ともに無料
- 問合せ先：加藤 正明 会員（長岡市立科学博物館／電話：0258-32-0546）

第 142 回化石研究会例会

「サテライト講演会」と「懇親会」のご案内

11月15日（土／化石研例会の前日）に長岡でのサテライト講演会と懇親会を企画しました。ぜひご参加ください。

1) 講演「後期鮮新世（約 350 万年前）の日本の陸上脊椎動物相を考える」

講師：高橋 啓一 会員（滋賀県立琵琶湖博物館）

概要：カイギュウが長岡に住んでいた第三紀鮮新世後期とはどのような時代だったのか。当時の陸上の様子はどうだったのだろうか。演者は大分県宇佐市と三重県伊賀市でたずさわってきた化石調査の成果をもとに、鮮新世後期の動物相・植物相について講演する。

日時：11月15日（土）午後5時～7時

場所：長岡市幸町 2-1-1 さいわいプラザ 4F 中央公民館大ホール
（翌 16 日の化石研例会と同じ会場）

共催（予定）：化石研究会・長岡市立科学博物館

・新潟骨ゼミ（新潟・古脊椎動物学習会）

－第 142 回化石研究会例会サテライト講演会・第 35 回新潟骨ゼミ－

2) 懇親会

時間：11月15日 午後7時30分から（サテライト講演会終了後）

場所：JR長岡駅近くの「和創作 灯（あかり）」長岡市坂之上町 1-4-2

（<http://www.hotpepper.jp/strJ000797096/map/#mapTop>）

「さいわいプラザ」から懇親会会場へ迎えのバスで移動します。

会費：4600円（予約名「新潟・古脊椎動物学習会」）

懇親会参加希望の方は、迎えバス利用の有無も含め、

笹川一郎（E-mail: ichsasgw@ngt.ndu.ac.jp）まで

申し込んでください。

11月12日締め切りです。

（笹川一郎）

運営委員会の開催について

例会にあわせ、下記日程で運営委員会を開催いたします。

日 時：11月16日（日）午前12時～午後1時30分

会 場：長岡市中央公民館 304 教室（さいわいプラザ3階）

第 142 回化石研究会例会 関連イベント

「カイギュウ発掘地を訪れる巡検(会津)」

長岡では歯のないカイギュウ、ヒドロダマリスが見つかっています。ヒドロダマリス以前は歯のあるカイギュウ、ドシシーレンが存在していたと言われています。日本でドシシーレンの頭骨が見つかる場所の一つ、福島県喜多方市高郷町のカイギュウ「アイツタカサトカイギュウ」の発掘地を訪れ、カイギュウの祖先の生きていた約 1000 万年前の環境について現場で確認します。

なお、今回は「カイギュウランドたかさと」の休館日にあたるため、アイツタカサトカイギュウの標本は御覧いただけません。

1) 日 時： 11月17日(月) 9:00~12:00

※ 移動は前日からおこない、高郷の宿に1泊します。

2) 宿 泊： 夕・朝食込で6000円、朝食のみで4300円、素泊まりで3500円

(いずれも税込)

※ 高郷内の民宿になります。夕食・朝食は季節のものが盛り込まれた膳などです。今の時期ですと新そばなど楽しめます。

3) 移 動： 長岡まで電車でお越しの方は、3人まで名取の自家用車(パジェロミニ)に同乗できます。巡検終了後、郡山駅または福島駅へお送りします(新潟方面は調整中です)。また、他の方の自動車への同乗をご希望の方はご連絡ください。

4) 内 容： ①グリーンタフの露頭見学

②塩坪層上部 カイギュウ・クジラ化石発掘地(阿賀川河川敷)見学
サンドパイプ密集層あり

③塩坪層下部 クジラ化石など産出地(阿賀川河川敷)見学
貝化石(耶麻化石動物群)の産状を確認できます

④塩坪層～藤峠層の連続露頭(軽沢峠)
漣痕、貝化石、火砕流堆積物(年代測定に利用)、亜炭層、
シジミ・アゲマキガイ化石、葉化石、珪藻土、火山豆石など

5) その他： ①巡検ができる服装・装備でお越しください。防寒具必携です。

②天候等により、一部変更になる場合がございます。

③上記の巡検地①～④のほか、他、参加者の御希望により会津のスポットを巡るようにします。

④参加費は無料です。宿泊費は現地にて実費お支払いください。
また、傷害保険は各自で御加入ください。

6) 申 込： **11月10日(月) 締め切りです。**

申込先・名取和香子 (080-1055-7248) (over.the.sea14@gmail.com)

※ 詳細は別途御相談させていただきます。

(名取和香子)

さいわいプラザ（長岡市立科学博物館）へのアクセス



自家用車

- 関越自動車道 長岡南越路 SIC または長岡 IC から 10～15 分、
あるいは北陸自動車道中之島見附 IC から約 30 分（約 300 台駐車可・無料）

公共交通

- JR 長岡駅（大手口）から路線バス（越後交通）
 - ①10 番のりばから「南循環内回り」、「宮内本町」行きのいずれかに乗車（発時刻 8:10、8:50、9:25、10:40、10:55、11:55、12:50、13:10、13:50、14:25、15:15、15:40、16:55、17:15、18:10、18:40）し、約 10 分の乗車の後、「市立劇場前」下車（運賃 170 円）。徒歩 1 分。
 - ②1 番のりばから「小千谷インター」行き、「十日町車庫」行き、「免許センター・片貝経由小千谷車庫」行き、「三仏生経由小千谷車庫」行きのいずれかに乗車（発時刻 7:15、7:50、7:55、8:10、8:40、10:00、10:15、10:30、11:40、12:00、12:40、13:00、13:30、13:40、14:40、15:00、15:40、16:00、16:30、16:40、17:00、17:30、17:40、18:00、18:10 以降省略）し、約 10 分の乗車の後、「宮原 2 丁目」下車（運賃 170 円）。徒歩 10 分。

★参考【JR長岡駅までのアクセス】

空 路：新潟空港から新潟駅南口行きの空港リムジンバス（新潟交通）に乗車。
新潟駅で JR 上越新幹線または信越線に乗り換え、あるいは新潟駅前から高速バス「長岡駅前」行き（越後交通・新潟交通）に乗り換え。

鉄 道：東京駅から上越新幹線、新潟駅から上越新幹線
または上越線、信越本線でお越しください。

長距離高速バス：関西方面からは、堺ーなんばー京都ー長岡ー三条線（南海バス・越後交通）に乗車し、「長岡駅東口」で下車。

首都圏方面からは、池袋ー長岡ー新潟線（西武バス・越後交通・新潟交通）に乗車し、「長岡北」停留所で下車、上り車線の「長岡北」停留所に移動して、新潟発の高速バス長岡駅前行き（越後交通・新潟交通）に乗り換え。または、新宿ー大宮ー新潟線（西武バス・越後交通・新潟交通）に乗車し、「長岡駅東口」で下車。

※ 名古屋（名鉄バス・新潟交通）、長野（長電バス・新潟交通）、富山（富山地方鉄道・新潟交通）、金沢（北陸鉄道・新潟交通）の各方面からもそれぞれ新潟行きに乗車して、「長岡北」停留所で下車、上り車線の「長岡北」停留所に移動して、新潟発の高速バス長岡駅前行き（越後交通・新潟交通）に乗り換え。



ヒドロダマリス属カイギュウの全身骨格復元

（画像：長岡市立科学博物館 HP から引用）

化石研究会会誌編集委員会からのお知らせ

化石研究会会誌の原稿送付先が変更されました。新しい送付先は下記のとおりです。

埼玉県立自然の博物館 〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 1 4 1 7 - 1

e-mail : kasekiken.saitama@gmail.com

TEL : 0494-66-0407（北川博道・楡井 尊を呼び出してください）

FAX : 0494-69-1002（北川博道 宛）

>>> 第32回総会・学術大会の報告 <<<

化石研究会第32回総会・学術大会が、埼玉県秩父市・長瀬の埼玉県立自然の博物館の協力・共催により開催されました。「長瀬恐竜フェスタ 2014」と銘打たれた今回は、初日6月14日（土）のシンポジウムでは日本国内における「最新恐竜研究～発掘から復元まで～」、二日目の15日（日）の一般講演では化石研究会員による3件の口頭発表、4件のポスター発表、さらに関東四県の県立自然史博物館学芸員らによる5件の研究発表が行われました。

会場となった埼玉県立自然の博物館では、6月11日より特別展「恐竜時代・海と陸の支配者たち」が始まっていることもあり、展示ホールには獣脚類恐竜アフロベナトルと竜脚類恐竜マラウィサウルスの全身骨格模型が展示されるなど「長瀬恐竜フェスタ 2014」にふさわしい盛り上がりを見せていました。

北川博道氏（埼玉県立自然の博物館）によるマイクパフォーマンスを織り交ぜた司会のもと、初日のシンポジウムでは高桑祐司氏（群馬県立自然史博物館）・久保田克博氏（神流町恐竜センター）による「“山中地溝帯”で恐竜を探す」、平山廉氏（早稲田大学）による「岩手県久慈市で見つかった恐竜たち」、徳川広和氏（株A c t o W）による「恐竜の姿を形にする～丹波竜 2013 年版模型での試み～」といった3件の講演と総合質疑が行われました。シンポジウムでは、化石研会員に加えて一般の参加者が多く、小学生くらいの子どもたちが講演を熱心に聴き入っていたのは印象的でした。高桑氏・久保田氏の講演では開催地である秩父地域にも分布する下部白亜系“山中地溝帯”から発見される恐竜化石が紹介され、平山氏の講演では集中調査が始まってから3年になる岩手県久慈市の上部白亜系久慈層群から見つかった恐竜などの脊椎動物化石が報告されました。国内で調査中の



久保田克博氏(左)と高桑祐司氏(右)



徳川広和氏(左)と平山廉氏(右)

恐竜化石の研究結果が紹介された後、徳川氏は復元模型の作成を行うアーティストの視線から見た恐竜研究について講演されました。

シンポジウム終了後は、小幡喜一氏（熊谷高等学校）の案内によって長瀬の岩畳（国指定の名勝・天然記念物）を見学しながら懇親会会場である長生館まで徒歩で移動しました。赤壁、ポットホールなど、興味深い景勝が見られ、長

く地元を歩いておられる小幡氏ならではの説明を拝聴することができました。

二日目午前中の一般講演では、高橋正志氏（日本歯科大学新潟短期大学）のヒト乳歯の組織構造と永久歯との比較についての研究発表、小幡喜一氏の秩父盆地新第三系下部の様々な生痕化石、堆積環境と層序についての研究発表、谷本正浩氏のワニ頭骨についての研究発表が行われました。

ポスターセッションを挟んだ午後からは、関東の自然史系博物館学芸員による発表セッションが行われました。北川博道氏は化石長鼻類の矮小化について、木村敏之氏（群馬県立自然史博物館）は化石鯨類アロデルフィス類の遊泳と摂餌について、加藤太一氏（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）は首の短い首長竜における歯の交換様式について、加藤久佳氏（千葉県立中央博物館）は世界最大のカニであるタカアシガニについて、楡井尊氏（埼玉県立自然の博物館）は花粉ダイアグラムの研究の現状と課題について、それぞれ研究発表されました。このように関東地方で開催された化石研ならではの聴き応えのある学術大会であったと思います。（吉田将崇・早稲田大学国際コミュニケーション科）



>>> 最近出版された書籍の紹介 <<<

1) 生物ミステリーPRO シリーズ

『1 エディアカラ紀・カンブリア紀の生物』 191p. (2013 年)

『2 オルドビス紀・シルル紀の生物』 141p. (2013 年)

『3 デボン紀の生物』 141p. (2014 年)

『4 石炭紀・ペルム紀の生物』 151p. (2014 年)

土屋 健 [著] 群馬県立自然史博物館 [監修] 技術評論社 発行／価格 いずれも¥2680+税

※ 本会会員ならびに会員が所属する博物館も協力しており、中生代以降の巻も準備が進められています。

2) 『学研の図鑑 LIVE 恐竜』

真鍋 真 [監修] (2014 年) 学研教育出版発行／ 価格¥2200+税

3) 『小学館の図鑑 NEO [新版] 恐竜』

富田幸光 [執筆・監修] (2014 年) 小学館発行／価格¥2000+税

4) 『歯の比較解剖学 第2版』

後藤仁敏・大泰司紀之・田畑純・花村肇・佐藤巖 [編]

石山巳喜夫ほか 12 名 [著] (2014 年)

医歯薬出版 (株) 発行／価格¥10000+税

※ 後藤会員を筆頭に多くの本会会員が執筆しています。

5) 『様々な化石の特徴、発掘方法、新しい調べ方がわかる化石観察入門』

芝原暁彦 [著] (2014 年) 誠文堂新光社発行／価格¥1800+税

6) 『ポプラディア大図鑑 WONDA 大昔の生きもの』

土屋健 [著] 小林快次ほか6名 [監修] ポプラ社発行／価格¥2000+税

7) 『化石ウォーキングガイド 関東甲信越版』

相場博明ほか11名 [著] (2014年) 丸善(株)発行／価格¥1900+税

>>> 第33回総会・学術大会(第143回)のお知らせ(予告) <<<

「静岡県静岡市」で開催する方向で、現在調整をしております。
詳細については、化石研究会のホームページ(<http://www.geocities.jp/tepkun/>)、
ならびに次号の化石研ニュースにて連絡いたします。

>>> 事務局だより <<<

■ 吉田将崇会員に総会・学術大会の報告を執筆していただきました。ありがとうございました。

■ 2014年度会費の納入をお願いします

年会費 4000円(学生2000円)

郵便振替 00100-7-633288 化石研究会

※ 一昨年の事務局移転に伴い、郵便振替の番号(↑)も新しくなっております。ご注意ください。

※ 納入状況は、会誌封筒の宛名ラベルでご確認ください。

3年間、会費未納の会員は、除籍となります。

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/tepkun/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会(カセキケンキュウカイ)

年会費 一般4000円(学生2000円)

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページでも見るができます。現在、紙でニュースが郵送されている方の中で、紙で送らなくても良い方は是非ご連絡ください。費用と労力の削減に御協力ください。